



献穀者 三瓶 清志さん (右)

## 今月の表紙

にいなめさい けんこくてん おたうえさい  
新嘗祭・献穀田・御田植祭

25年ぶりに只見町から、天皇へ新穀を献納する献穀者に「三瓶清志さん(大倉)」が選ばれた。御田植祭は快晴の5月22日に行われ、「最高の米を届けたい」と話す三瓶さんは最高の笑顔で苗を植えた。(写真左上:献穀者の玉串奉奠)【関連記事7頁】

## 第1回只見町

### ユネスコエコパーク検討委員会…… 2~5

平成24年度春季消防検閲式…………… 6

平成24年度新嘗祭 献穀田 御田植祭…………… 7

企業立地協定調印式 他…………… 8~9

町の話…………… 10~11



# 「自然首都・只見」の ブランド化を目指す

## 第1回只見町ユネスコエコパーク検討委員会

「ユネスコエコパーク」への  
申請と登録を検討

町では、第六次只見町振興計画にある町づくりの理念「ブナと生きるまち・雪と暮らすまち（奥会津只見の挑戦・真の地域価値観の創造）」を具体的に実現するための事業の一環として、昨年12月に第1回「自然首都・只見」ブランド確立のための検討委員会を開き、只見の自然のブランド確立について意見交換を行いました。その後、第2回の会議が1月27日に開かれ、協議の結果、9項目からな



▲意見交換などで知識を深めた検討委員会

るブランド確立のための提言がまとまり、町に提出されました。同提言は「自然首都・只見」のブランド化を目指し、その価値を向上させるため、住民と行政が一体となり様々な活動に取り組んでいくことを提案、その有効的な手段の一つとして、世界的な評価にもつながる「ユネスコエコパーク」への申請と登録を検討する価値があると明記されているものです。

### 只見町ユネスコエコパーク 検討委員会を設置

この提言に基づき、町では「ユネスコエコパーク」への登録について考え、協議を重ねていくための「只見町ユネスコエコパーク検討委員会」を組織し、エコパークへの申請に係わる方針や設定案、課題などを検討していくこととしました。

### 第1回只見町ユネスコ エコパーク検討委員会の開催

第1回の只見町ユネスコエコパーク検討委員会は、5月10日に朝日地区センターで開かれ、19名の委員のうち、出席者18名

に目黒町長から委嘱状が手渡されました。会議は町民にも公開されました。

はじめに、目黒町長はあいさつで「豪雨災害や原発事故の風評被害で町も厳しい状況ですが、自然を生かした町づくりを基本に、産業振興と復興を進めます。皆様のご協力をお願いします」と述べました。続いて、委員長と副委員長の選出について諮られ、委員長に榎村利道福島大学名誉教授が、副委員長には只見の自然に学ぶ会代表の新国勇さん（只見）が選任されました。その後、これまでの経過と今後の進め方について事務局の説明があり、次にユネスコエコパークの概念と概要について、酒井暁子横浜国立大学准教授の講義が行われました。講義では先進地のドイツを例に、ドイツには数多くのエコパークがあり、それぞれの地域が自然環境の重要性を認識し、持続可能な地域発展を遂げていることや自然を教育に活用したり、伝統的な農業体験を観光業に生かしていることなど、ブランド化された地域の資源が有効活用された真の財産となっている事例の説明がありました。

午後からは意見交換が行われ、エコパークにデメリットはあるか（人が入りすぎる可能性あり）、指定地域での制限や規制はどうか（ユネスコの規制はない、その地域の自主規制が原則）、認定を維持していくためのコストは（運営はその地域に任せられる）、山間部での事例はあるか（スイスの山岳地で地場産品のレストランが好評）など、エコパークに認定された際の状況について確認されました。

今後は、9月頃までに最終案を取りまとめ、町に提言する予定となっています。

### 只見の自然を最大限に 生かした町づくりを推進

町としては、検討委員会での協議を踏まえ、エコパークの認定を実現させるとともに、「自然首都・只見」のブランド化を確立するための事業を行なっていきますので、皆様のご協力をお願いします。

3～5ページでユネスコ  
エコパークを紹介します。

# ユネスコエコパークって なんのこと…？

只見町が登録申請を目指すユネスコエコパークについて紹介します。  
皆さんご存知ですか。

只見町は、「自然首都・只見」のブランド化を具体的に推進するためにユネスコエコパークの登録申請を目指しています。そこで、皆様にユネスコエコパークについてご理解いただけるよう、内容を解説します。

人類史上、人間社会の発展は、自然環境の破壊を引き起こし、現代においては、人類それ自身の生存も脅かすまでになりました。そうした中で、ユネスコ(国際科学文化教育機構)は、自然環境と人間活動の調和を実現するための国際事業としてMAB計画(人間と生物圏計画)を発足させました。ユネスコエコパークは、MAB計画の主要事業

ユネスコエコパークは「自然と人間との共生」を目指す地域です

であり、「自然環境を保護・保全しつつ、地域の持続可能な社会経済発展を実現する場」として、世界でその指定と活用が行われています。

保護すべき豊かな自然環境とそれを抛り所とした地域の人間活動の存在が登録条件

原生自然の保護を目的とする世界自然遺産の認定には、世界的に唯一無二の自然環境の存在が条件ですが、「自然と人間と

の共生」を目指すユネスコエコパークは、豊かな自然環境とそれを背景とした地域の人間活動(伝統文化、産業、研究、教育)が存在することが条件となります。只見町は、今現在、豊かな自然環境とそれに根ざした地域社会や伝統文化が存在しており、すでにユネスコエコパークの登録条件を満たすばかりでなく、「自然と人間との共生」を実現する世界モデルともいえる存在です。(4ページにつづく)

## 只見町ユネスコエコパーク検討委員会委員

(順不同・敬称略)

任命区分	役職名	氏名
学識経験者	福島大学名誉教授	櫻村 利道
	新潟大学教授	崎尾 均
	横浜国立大学准教授	酒井 暁子
	森林総合研究所 多摩森林科学園園長	吉丸 博志
	日本自然保護協会 保全研究部長	朱宮 丈晴
関係団体の 役職員	関東森林管理局会津 森林管理署南会津支署長	中島 朝長
	福島県南会津地方振興局県 民環境部長	伊藤 望
	只見町商工会事務局長	目黒長一郎
	只見町森林組合長	矢沢 純也
	JA会津みなみ 只見支店長	山内 裕希
	只見町観光まちづくり協会 事務局長	酒井 治子
	只見町教育委員	馬場 都美
町内団体の 役職員	只見地区区長連絡会会長	菅家二千六
	朝日地区区長連絡会会長	菅家 達朗
	明和地区区長 連絡協議会会長	馬場 光男
	只見地区婦人会会長	鈴木小枝子
	朝日地区婦人会会長	渡部千重子
	明和地区婦人会会長	矢沢 千代
	只見の自然に学ぶ会代表	新国 勇

任期：平成24年5月10日～平成25年3月31日



**対象地域は、土地利用区分と既存の法制度の活用をもって運用されます（5ページ参照）**

ユネスコエコパークの対象地域は、自然保護を目的とする「核心地域」を中心に置き、その周りに核心地域を保護し、学術調査研究・環境教育・伝統的な資源利用等を行う「緩衝地帯」を配置し、さらにその外側に持続可能な社会・経済発展を目指す「移行地域」を設ける土地利用区分を行います。ユネスコエコパークに登録されることで、世界自然遺産のように、保護・保全のための新たな法制度による規制が発生することはありません。今ある法制度（只見町であれば、越後三山只見国定公園などに則り管理されるだけです。また、この土地利用区分の範囲やその利用・管理は地域自らがその実情に合わせて設定でき、柔軟性の高い制度と言えます。

**登録による只見町へのメリットはなにか**

財政支援や助成制度といった直接的な金銭利益はありません。しかし、次のようなメリットが考えられます。

①ユネスコという国際機関によ

り只見の自然環境とそれを抛り所とする地域社会の価値が認められ、「只見ブランド」の価値が高まります。同時に、そのように世界的に認められる地域に住んでいることに、只見町民としての誇りが持てます。

②調査・研究の拠点となり、学術的に只見の価値が評価されます。こうした裏づけのある情報が発信されることで、町外からの人の流れが生まれ、地域の活性化が図られます。

③自然環境を生かした地場産業の育成に係る外部支援が得られやすくなり、持続可能な地域経済の発展につながる可能性があります。

**只見町の活性化への起爆剤として期待されるユネスコエコパーク**

現在、只見町は過疎化と高齢化が進み、地場産業の衰退も著しく、将来的に町の存続が危ぶまれる状態にあります。このような中で、ユネスコエコパーク構想は、只見町の豊かな自然環境を生かした地域の再生、すなわち、ブナと生きる、雪と暮らす「自然首都・只見」を実現する最も有効な活性化対策であると考えます。確実に進む高齢化と過疎化は、自然と住民との結びつきを断ち切りろうとしてい

ます。只見の魅力であり、財産である住民と自然との共生、このスタイルを維持し、継続して次世代に伝えていかなければなりません。ユネスコエコパークへの取り組みは、只見町の元気を取り戻すための大きなステップとなることでしょう。

○お問い合わせ○

総務企画課企画班  
☎0241-82-5220



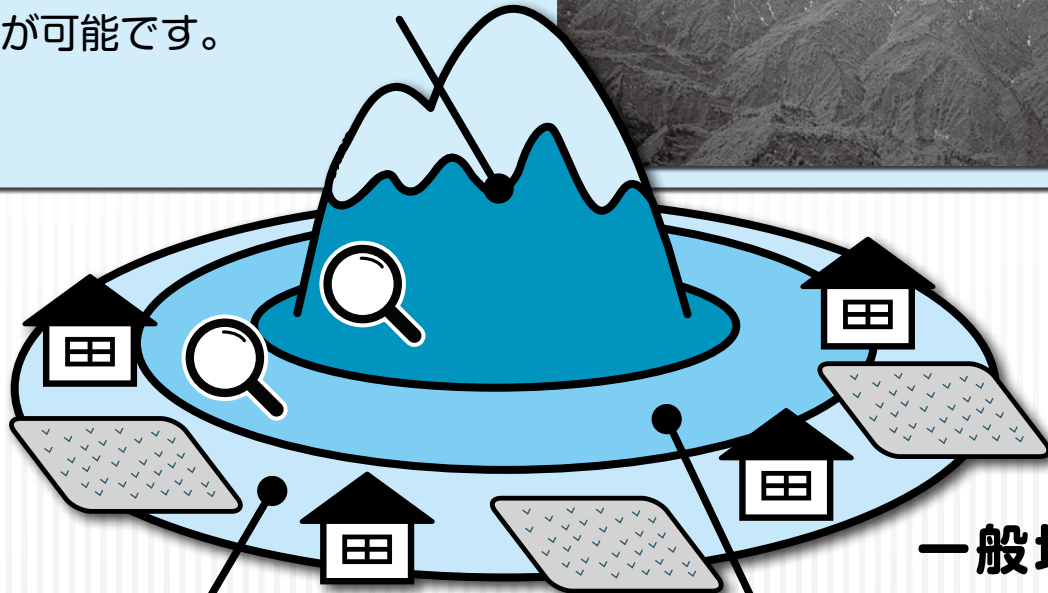
# ユネスコエコパークの基本的な土地利用区分

※新たな法制度による規制は発生しません。(既存の法制度が活用されます)

[ 🔍 : 調査・研究    🏠 : 住居    🌾 : 田畑 ]

## 核心地域

原生的な自然を、厳重に保護します。基礎的な学術調査研究が可能です。



一般地域

## 移行地域

居住可能。地域の持続可能な社会・経済発展を担います。



## 緩衝地帯

学術調査研究・環境教育・伝統的な資源利用が可能です。



# 予防消防に努め、さらなる訓練の充実と士気の高揚を

## 平成24年度春季消防検閲式

春の青空に恵まれた4月29日、只見中学校前の駐車場を会場に、春季消防検閲式が行われ、消防団員165名、婦人消防隊員30名とポンプ車3台、小型動力ポンプ付積載車9台が参加し動しました。

検閲官の目黒町長による検閲宣言の後、閲団、通常点検、小隊訓練、機械器具点検、分列行進などが行われ参加団員の機敏で正確な動作が披露されました。

検閲官による訓辞講習では、「消防は地域住民の生活安定向上、生命財産を守る重要な役割を担っています。今後も奉仕的消防精神を堅持され、予防消防に努めてください」と述べました。



▲検閲官による通常点検

続いて、表彰及び感謝状の贈呈と来賓の方による祝辞がありました。また、受賞者を代表して第1分団第3班の酒井雅喜分団長から「消防精神の士気高揚と消防活動の充実に努力します。皆様のご指導をお願いいたします」と謝辞が述べられました。受賞者は次の方々です。

(敬称略)

### 【消防団長表彰】

#### ●優良章

長澤文男(只見)、新国透(只見)、五十嵐一幸(福井)、渡部典高(小川)、渡部秀人(小川)、増田良(只見)、菅家強生(黒谷)、吉津明(長浜)、目黒良二(熊倉)、皆川雄三(熊倉)、酒井俊夫(龜岡)、飯島治(坂田)、佐藤雅幸(小林)、矢沢一輝(二軒在家)、山内翔(二軒在家)、佐藤佑介(大倉)、三瓶和人(大倉)、永井晃嗣(大倉)

#### ●精績章

鈴木克英(只見)、鈴木僚(只見)

#### ●功労章

鈴木基(只見)、鈴木克英(只見)、鈴木淳(只見)、大竹信一(只見)、新国善記(只見)、三瓶宏(只見)、吉津高弘(只見)、鈴木僚(只見)、長澤文男(只見)、酒井雅喜(只見)、鈴木尚(只見)、新国伸一(只見)、新国真也(只見)、鈴木佳憲(只見)、五十嵐健司(只見)

### 【消防庁長官表彰】

#### ●永年勤続功労章

目黒邦友(只見)

### 【福島県知事表彰】

#### ●精勤章

目黒邦友(只見)

### ●優良青年消防団員章

目黒大四郎(小川)

### 【日本消防協会表彰】

#### ●精績章

佐藤長次(大倉)

#### ●勤続章

鈴木好行(只見)、目黒邦友(只見)、佐藤長次(大倉)、三瓶友一(叶津)、吉津唯利(長浜)、鈴木嘉津雄(只見)

### 【福島県消防協会表彰】

#### ●精勤章

酒井正直(叶津)、馬場芳也(蒲生)、菊地正夫(梁取)

### 【福島県消防協会表彰】

南会津支部長表彰

#### ●功績章

鈴木基(只見)、吉田晃男(叶津)、岩淵秀一(黒谷)、飯塚幸宣(大倉)

#### ●優良章

渡部義孝(只見)、酒井信和(只見)、山内衛(只見)、馬場英弥(黒谷)、横山忍(樺戸)、五十嵐和彦(福井)、増田功(黒谷)、山中美明(黒谷)、吉津健(黒谷)、菅家亮(黒谷)、酒井敦(長浜)、目黒公俊(熊倉)、飯塚和行(坂田)、星明弘(二軒在家)

### ●勤続章

藤田洋平(只見)、佐藤邦弘(只見)、馬場英弥(黒谷)、横山伸成(樺戸)、目黒大四郎(小川)、酒井祐世(黒谷)、須佐正弘(黒谷)、山中美明(黒谷)、吉津健(黒谷)、菅家亮(黒谷)、芳賀沼智(黒谷)、目黒公俊(熊倉)、飯塚和行(坂田)、星明弘(二軒在家)、川原田則夫(大倉)、馬場良元(梁取)、菊地浩(梁取)

### 【消防団退職表彰状(銀杯)】

#### ●退職報償

鈴木嘉津雄(只見)、五十嵐良平(只見)、五十嵐利明(塩ノ岐)、荒井安行(布沢)

### 【只見町長・只見町消防団長連名感謝状】

感謝状  
平野敏則(叶津)、鈴木嘉津雄(只見)



▲通常点検を受ける婦人消防隊

毎年11月に皇居で行われる新嘗祭で天皇に献上するための献穀米を栽培する献穀者に大倉在住の「三瓶清志さん」が選ばれました。



▲献穀米の苗を植える三瓶清志さん(右)と関係者

**Profile**

- さんべ せいし 清志さん 49歳
- ▶昭和60年～ 就農
- ▶平成元年～ 父親から経営移譲を受ける
- ▶平成16年～ 只見町農業委員会委員
- ▶平成18年 有限会社さんべ農園を設立 (代表取締役)  
従業員数13名  
栽培面積 水 稲:約15ha/トマト:約1ha



町内で最初に農業生産法人を立ち上げ、昨年には有機米の栽培を始めるなど、積極的な経営に取り組んでいる。(写真右が清志さん、左は妻のやえさん)

# 平成24年度

## 新嘗祭献穀田御田植祭行う

### 只見町で25年ぶりの献穀者「三瓶清志さん(大倉)」

只見町から  
25年ぶりの献穀者

只見町から献穀者が選ばれたのは、なんと25年ぶりで、前回の献穀者は梁取在住の「馬場専久さん」でした。毎年、福島県からは2名が献穀者に選ばれ、今年も三瓶さんと矢吹町の方が献穀者となりました。

5月22日に御田植祭

大倉地区の三瓶さんの献穀田では、5月22日に御田植祭が厳かに行われました。この日は朝から晴天に恵まれ、献穀田の前では神事が執り行われ、三瓶さんや目黒町長ら関係者が水田に入り、福島県オリジナルブランド米の「天のつぶ」の苗を丁寧に植えました。献穀田の面積は810㎡、その一部に手植えされた苗は春の穏やかな日差しを浴び鮮やかな緑色に輝いていました。献穀米は有機栽培で育てられます。

最高のお米を天皇に献上

三瓶さんは、あいさつで「災害の復興に向けてのいい機会になればと一生懸命育てたい。きれいな水と空気に恵まれた『自然首都・只見』で精いっぱい努力し、最高のお米を天皇に献上

#### 言葉 MEMO



「新嘗祭」  
毎年11月23日に行われる祭儀で、天皇陛下が、神嘉殿において新穀を皇祖はじめ神々にお供えになり、神恩を感謝された後、陛下自らもお召し上がりになる祭典。宮中恒例祭典の中の最も重要なもの。天皇陛下自らご栽培になった新穀もお供えになります。

「献穀」

献穀は、宮中の恒例行事の中で最も重要な儀式である「新嘗祭(にいなめさい)」に供するための新穀を各都道府県の精農家が献納するものであり、明治25年以来、今日まで続いている伝統的な行事です。

したい」と述べました。献穀米は、9月下旬に収穫され、10月下旬頃に皇居で行われる献穀献納式において、三瓶さんご夫妻が、5合の米を献上される予定です。

# 生産性の向上・雇用の拡大を目指す

## 企業立地協定調印式



▲調印式に出席した左から目黒町長、山内宏二代表取締役、鈴木直記代表取締役社長、玉井振興局長

町内企業の円滑な事業推進を支援するため、4月19日、役場本庁で企業立地協定調印式が行われました。

今回、町と企業立地協定を結んだ企業は、「株式会社会津工場（二軒在家）」と「株式会社ヒロタテクノ（小林）」の2社


で、同協定を結んだことにより、ふくしま産業復興企業立地補助金を活用され、作業環境の充実や業務の拡張などを図る計画です。

調印式のあいさつで目黒町長は「町も積極的、果敢に企業の経営推進に取り組んでいく。企業の皆さんも事業の拡大に挑んでほしい」と述べました。また、会津工場の鈴木直記代表は「工場の規模を拡大する。さらに発展していきたい」と述べ、ヒロタテクノの山内宏二代表は「品質管理体制の確立を目指す。若い社員も揃いつつある。夢のある会社になりたい」と述べました。


目黒町長が、同協定書に調印後、鈴木代表と山内代表は、玉井章福島県南会津地方振興局長に同補助金の申請書を提出しました。今後、2社は補助金交付決定後、それぞれの事業計画に着手される予定で、雇用の拡大も見込まれています。

### 企業立地協定を結んだ企業の概要

#### ◆株式会社 会津工場

本 社	二軒在家字上夕毛	 <p>鈴木直記氏</p>
資 本 金	4,800万円	
主要製品	自動車部品、過給機用部品、給湯機部品	
計画雇用	5人	
計画内容	主力の鋳物製品の増産対応とコスト低減化を目的に、生産ラインの効率化と作業環境改善を図る。建屋増設及び用地取得、各種設備投資。	

#### ◆株式会社 ヒロタテクノ

本 社	小林字下前田	 <p>山内宏三氏</p>
資 本 金	500万円	
主要製品	精密部品加工（アルミ）	
計画雇用	9人	
計画内容	工場の業務拡張、設備の増強により地元雇用の拡大を図る。工場の新設、増設及び用地取得、複合加工機等を増強し、試作・高難易度・少量品・量産品等のニーズに対応できる受注体制の確立。	



河井継之助記念館より

### 企画展を開催中

現在、河井継之助記念館（塩沢）では、企画展「河井継之助と山本帯刀」を開催しています。また、「南会津戊辰戦争・滝原の戦い（只見町坂田地区での戦い）」の屏風図を複製し展示公開していますので、この機会に只見の歴史に触れてみてください。ご来館をお待ちしております。

- 入館料 大人 300円  
子ども 100円
- 定休日 毎週木曜日



# 百歳賀寿

おめでとうございます

飯塚キヌエさん（坂田）  
五十嵐ヨシイさん（長浜）  
が満百歳

4月12日に飯塚キヌエさんが、4月28日には五十嵐ヨシイさんが満百歳の誕生日を迎えられ、同日に知事賀寿贈呈式が飯塚キヌエさんは介護老人保健施設こぶし苑で、五十嵐ヨシイさんは特別養護老人ホーム只見ホームで行われました。

はじめに近内保二南会津保健福祉事務所長から知事賀寿と長寿を記念しての木杯が贈られました。続いて、只見町、町議会、町社会福祉協議会、町老人クラブ連合会、各地区老人クラブなどから、お祝いの記念品などが贈られました。また、親族の方からは、お祝いの花束も手渡されました。お二人の長生きの秘訣は、気持ち強く持つこと、よく働き、よく食べること。とのことでした。おめでとうございます。



▲百歳を迎えた五十嵐ヨシイさん(中央)



▲百歳を迎えた飯塚キヌエさん(左から2人目)

## 只見町と三条市の懇談会

国道289号八十里越の早期開通に向け連携強化

国道289号八十里越の早期開通に向け、只見町と新潟県三条市の連携を高めることや、連携を強化していくことなどを目的に、4月26日、役場本庁で只見町と三条市の懇談会が開かれました。三条市からは、永井努営業戦略室長はじめ、鷹田真六下田商工会長、杉野真司三条観光協会会長ら9名が出席、当町からは、五十嵐一彦交流推進班長、菅家俊一只見町商工会長、目黒千代作只見町観光まちづくり協会副会長ら7名が出席しました。会議では、只見町と三条市の行政や商工会、観光協会などの関係機関が一体となって、地域振興を図っていくための新たな組織を設立できないか協議されたほか、観光ツアーの実施についてや、情報発信、観光交流などの方法についても意見が交わられました。今後も、随時懇談会は行われる予定です。



▲今後の活動計画などが協議された懇談会

## 区長と町当局が活発な意見交換

## 平成24年度町政報告会

4月25日に、季の郷湯ら里で区長連絡協議会総会が行われ、終了後に平成24年度町政報告会が開かれました。役場からは目黒町長、久保副町長、各課等の長が出席し、区長との意見交換を行いました。

はじめに目黒町長から、「町の進展のため、各事業の実施について、ご理解とご協力をお願いし、皆さんの共通認識をいただきますので、ご意見をお願いします」とあいさつがありました。続いて、各担当課長などから

本年度の重点事項や協力事項についての説明が行われ、質疑応答に入りました。質疑応答では、集会施設の修繕、薪の灰に係る放射能検査結果の周知、原発事故に伴う土壌のモニタリング調査の実施、災害時の避難誘導対策、立木などの線量調査の実施、林道除雪の実施、集会所の浄化槽整備などについて、要望や意見が出され、担当課長などから現状の報告や、今後の進め方の説明がありました。対策が必要な課題や、報告を要する事案については、調査検討のうえ、随



▲意見交換で発言される区長

時連絡を取ることとし、町政報告会は終了しました。



小学校  
春季大運動会



**農** 懇談会「村の達人に学ぶ」  
産物の生産向上を目指して…

小林農事組合（馬場敏行組合長）では、5月15日に小林公民館で集落の方を対象に「村の達人に学ぶ」と名付けた懇談会を開きました。この会は野菜など農産物の生産性の向上を図ることや農村生活の豊かさを実感するため行われ、約30名が参加しました。この日は、野菜づくりに熟練された小林地区の5人の方々が、ネギや人参、サツマイモなどの栽培方法のコツを話され、参加者はメモを取ったり質問したりと活発な懇談会となりました。この会は今回で2回目。



▲熱心に熟練者の説明を聞く参加者

**最** 要害山の山開き  
高の青空に新緑と残雪



▲山頂での大パノラマに感動する登山客

只見町観光まちづくり協会が主催する「要害山の山開き」が5月13日に開かれ、約70名が参加、登山者のなかには東京から訪れた人も見られました。要害山は生息する草花の種類が多く、この日はシャクナゲやイワカガミ、ユキツバキなどが見ごろで、参加者をやさしく出迎えていました。さらに、晴天に恵まれ山頂からは新緑と残雪のコントラストが鮮やかな、会津朝日岳や浅草岳も望め、要害山の魅力が満喫できた山開きとなりました。

## 鬼 地域活性化伝道師「藤田 勲」氏 に金棒人形を寄贈

一般財団法人・神城文化の森・藤田財団（熊本県錦町）理事長の藤田勲氏が4月26日に役場本庁を訪れ、藤田財団ブランドの「鬼に金棒人形」を寄贈されました。この活動は、がんばろう！日本・鬼復興祈念プロジェクト事業の一環で行われ、同プロジェクト実行委員会委員長の藤田氏が、昨年発生した大震災や豪雨災害などで被災した地域を訪れ、一日も早い復興を祈念し、鬼の人形を手渡されているもので、町内の保育所と小学校へも届けられました。



▲人形を寄贈された藤田氏（中央）と目黒町長（右）と久保副町長

## 豪 株式会社高島屋柏店 雨災害からの復興を応援



▲目録を手にする目黒町長（右）と村田善郎高島屋柏店長

ふるさと交流都市の千葉県柏市にある高島屋柏店から、豪雨災害の復興に役立ててほしいと103,000円が寄付されました。寄付金は5月7日に村田善郎高島屋柏店長から目黒町長に手渡されました。これは、同高島屋が千葉大学で生産された生花をチャリティ販売された売上からの寄付で、高島屋ステーションモール開業20周年特別事業の一環で行われました。皆様からの温かい応援、本当にありがとうございました。

## 春 只見町民ハイキング のフレッシュな空気を深呼吸

穏やかに晴れた春空のもと、5月13日に、第23回只見町民ハイキングが只見ダム周辺で行われ、約180名が参加しました。春のさわやかな風が新緑の木々を揺らすなか、思い思いのペースで歩き回りの景色を楽しみました。ゴールした参加者はトン汁のサービスで疲れを癒し、青少年旅行村いこいの森で行われた、ハズレなしの大抽選会で楽しく盛り上がり、春の一日を有意義に過ごしました。



▲楽しく健康づくりができた参加者

## 新 バード・ウォッチング 緑が心地いい林の中で…



▲小鳥の鳴き声が響くなかポイントを探す参加者

さわやかな春の日差しが新緑をまぶしく照らした5月20日、寄岩地内の大畑沢林道を歩きながらの春鳥観察が行われました。只見の自然に学ぶ会の皆さんを講師に、早朝の新鮮な空気につつまれた林のなかで、15人の参加者は、双眼鏡をのぞき、耳を澄ませて、かわいい鳥たちのしぐさや美しい鳴き声を楽しみました。この日はノジコやサシバなどが確認できたり、所々でウグイスやオオルリなどのさえずりも聴こえ、18種類の野鳥を観察しました。



# 先生のLife in JAPAN Vol.17

■ Anna · George  
Anna George  
 ・1987年生まれ。英国ノーフォーク出身。  
 ・2010年8月から只見町英語指導助手。  
 ・小学校と中学校で語学の指導を行います。

ここ最近、夜になるとカエルさんたちの歌声が聞こえてきます。ということはもうすぐ夏がやってきます！今年はいろいなアウトドアでの活動をしたと考えています。登山をしようかとも考えています。イギリスには山がなく、今まであまり経験したことがないので。

今月からまた小学校の英語の授業へ参加し始めました。今年度から英語の授業の中にプロジェクトカードを使って授業を進めるシステムが導入されました。児童のみなさんがこの新しいシステムでより楽しく英語の学習を進めてくれることを願っています。私もよくイギリスでコンピュータの使い方の指導をしています。

ました。なので、私はこのような新しいテクノロジーを使って生徒に教えることはとてもよいことだと思います。

この5月は私の母と妹が日本を訪ねました。彼女たちは本当に素晴らしい時間を過ごしていききました。彼女たちはもちろん日本食を食べていましたが、特別にお寿司とカツ丼が気に入ったようです。お寿司はイギリスで食べると大変高価で日本の回転寿司店の値段の安さにとっても驚いていました。しかし残念なことに、私の母は箸を使うのが苦手です。少し困惑していました。でも帰国際には結構上達していました。

昨年に引き続き、家庭菜園に挑戦しています。ズッキーニ、トマト、ピーマン、それとハーブも育てています。昨年失敗した教訓を生かし、今年は昨年より上手にできればいいなと思っています。また、ケイトウの花も育てています。この花は私が日本に来るまで見たことがないものでした。

6月に中学校の部活動の大会が開催されます。私は生徒たちが一生懸命戦っている姿を見るのが大好きです。みんなが素晴らしい試合をしてくれることを期待しています。

(訳・只見中・平野)

## 広報ただみ診療所

朝日診療所

医師 菅家 智史

### 『健康診断 受けた「後」が大切!』

皆さんこんにちは。朝日診療所医師の菅家です。昨年より只見町職員として勤務しておりますが、この4月から福島医大「地域・家庭医療学講座」の助手に就任しました。

診断・人間ドッグなどを受けている方も多いと思います。その結果が届いたら、あなたは どうしていますか？

「要精査」「要医療」「▲」など、診察を勧められていたけれど、医者から悪いことを言われるんじゃないかと怖くて診療所に行けない、何だか忙しくて受診しないでそのまま、なんていうことはありませんか？届いたけどちゃんと見ていない、なんていう人はいませんか？

結論から言えば、健康診断・がん検診を「受けただけ」ではなく、健康にはなりません。受けた後、結果を読んで、今後どのようにしたらよいかを考えましょう。そうでなければ、健康診断・がん検診の結果用紙が無駄になってしまいます。

皆さんこんにちは。朝日診療所医師の菅家です。昨年より只見町職員として勤務しておりますが、この4月から福島医大「地域・家庭医療学講座」の助手に就任しました。

「要精査」「要医療」「▲」など、診察を勧められていたけれど、医者から悪いことを言われるんじゃないかと怖くて診療所に行けない、何だか忙しくて受診しないでそのまま、なんていうことはありませんか？届いたけどちゃんと見ていない、なんていう人はいませんか？

さて今回は、健康診断を受けた「後」の話をしたいと思っています。4月から5月にかけて、特定健診、がん検診などが、町内各地区で行われています。それ以外にも、それぞれの会社や、個人的に健康

診断・人間ドッグなどを受けている方も多いと思います。その結果が届いたら、あなたは どうしていますか？

とはいえ、健康診断・がん検診の用紙を読んで、全て理解するのはなかなか難しいと思います。そこで私たちの出番です。朝日診療所では、かかりつけの患者さん皆さんに、健康診断の結果用紙を持参いただくようおすすめています。結果用紙と一緒に確認しながら、追加検査の必要性を考えたり、診療所で行う検査を省略したり、効率的に皆さんの健康を増進できるように役立てたいと考えています。

もちろん、朝日診療所がかかりつけでなくても、健康診断・がん検診・人間ドッグ等の結果用紙を持ってきて受診いただければ、一緒に見ながら相談させていただきます。健康診断は、受けた「後」が大切ですよ！

# 町史

## とっておきの話

215

南相馬市博物館学芸員

稲葉 修

### 只見とっておきの魚たち ⑤

米粒より

小さい貝がいる！



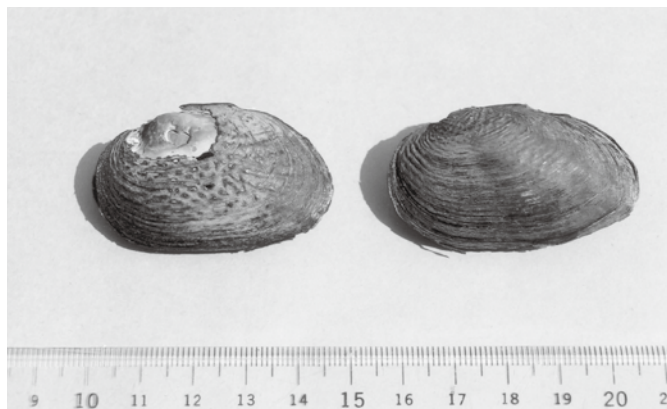
只見町や旧南郷村の伊南川沿いの水路や池などには、かつてタナゴという全長10センチ前後の小さな魚が棲んでいました。在来分布なのか、古い時代に他所から持ち込まれたものなのかは不明ですが、聞き取り調査から考えると、ヤリタナゴという種類のようです。タナゴ類は二枚貝に卵を産みます。貝の中で孵化・成長したタナゴの子どもは貝から泳ぎ出てきます。ヤリタナゴが産卵に利用する二枚貝は、イシガイ科のヨコハマシジラガイとマツカサガイです。只見町ではどちらもカタツケと呼んでいましたが、今では姿を消しつつあります。

ヨコハマシジラガイ・マツカサガイとも、殻の長さは6センチほどです。しかし、ヨコハマシジラガイは殻の表面に粒のような彫刻模様が、マツカサガイにはV字を逆にしたような彫刻

模様があります。これらの二枚貝類にはオスとメスの貝がいて、オスの貝から放出された精子が近くのメスの貝に入って受精します。メスの貝の中で育った貝の子ども（ゲロキジウムといいます）は、大量に水中に放出され、この時、貝のまわりを泳ぐ魚に寄生します。魚の体液を吸ってしばらく寄生したあと、魚からはなれて川底に潜り、水中の植物プランクトンなどを食べて成長していきます。

只見町では一部の水路でこの二種類の貝を見つけたことが、一緒に住んでいる魚は、イワナ・ヤマメ・ウグイ・エゾウグイ、そしてアカザやドジョウ、陸封型カジカ・カワヤツメ河川型などでした。この中で貝に寄生されている魚はどれなのでしょう。

中には、1センチほどの殻をもつドブシジミという二枚貝がいます。殻が半透明のかわいらしい貝で、ドブシジミという名前には似合いません。さらに町内には、大きさが5ミリ以下の二枚貝がいます。マメシジミといい、米粒より小さな貝です。湧水の水路やブナ林の中の湿地の泥や砂の中に棲んでいて、殻の色は白色や半透明です。5ミリ以下



ヨコハマシジラガイ (左) とマツカサガイ (右)



米粒より小さなマメシジミ



# 町民文芸

## 只見短歌会

四月詠草

大塚栄一 指導

古川 英子

同級会に出席されし九十歳の恩師に付添ひ我は着替へず

吉津 政枝

わが終の住家となりしニュータウンに過ぎゆき偲び唯に里想ふ

五十嵐夏美

幾度かわれに言葉の出で来ねば話されぬかと焦りを覚ゆ

関谷登美子

離れ住む娘の連れ来し猫二匹家族の如くなりて三年ぞ

渡部ゆき子

洪水に荒れし山川の水濁る池のほとりに水芭蕉咲く

目黒 富子

乾く程甘味が増すか簀の子より落ちし大根に蟻が群がる

斎藤ちひろ

廢屋の屋敷に残る桐の木の枝の高きに花咲き初むる

渡部ヨリ子

雪溶けて地肌の見ゆる前山は水害に土砂の崩れたる跡

新国 洋子

肺炎の夫の食事を時かけて養ふ娘にわれは及ばず

( 出 詠 順 )

## 只見俳句会

四月例会

目黒十一 指導

邦 男

堅雪や人影走り犬の吠え

黄塵や廊下外れの非常口

隆 堂

花曇り椎茸榎木伏せ終わる

蓬萌ゆ摘むを躊躇い佇めり

邦 夫

孕み猫つれて赴任の駐在所

ころころと堅雪渡る野兎の糞

リウコ

残雪や峽に探査のへり低く

池の辺の遠慮がちなる露の莖

都

飾られし兄の遺影や春陽差す

ゴーゴーと押し流れゆく雪解川

洋 子

水満々ゆびそ柳の花穂出でて

蛭蝶囲いこむよう手の平に

一 穂

手廻しの電灯備え春おぼろもぐりては蜂の全身花粉つけ

アツ子

春曙テレスケホーの幾度も

雪解川ゆびそ柳も今は無く

礼

ゴム毬のころがつて来し春の泥

一陣の煙西へと養花天

修 一

圧巻の握鮎在る築地かな

トラックの震動届く植田かな

一 灯

洗車してのたうつホース水温む

うららかや眼鏡の傍に文庫本

又壺歩

柳の芽色つきそめて川の朝

春炬燵立てばする事忘れおり

吉 児

停年や農の手ほどき先ず田植

さわやかや白寿の義姉と新茶汲む

恒 夫

青芒われに重たき手打鍬  
山笑う只見川なお壺中天

# 今月のお知らせ

## 電話番号

総務企画課	
総務班	☎ 82-5050
	☎ 82-5210
	☎ 82-5220
企画班	
町民生活課	
税務班	☎ 82-5110
町民班	☎ 82-5100
保健福祉課	
保健班	☎ 84-7005
福祉班	☎ 84-7010
産業振興課	
農林班	☎ 82-5230
交流推進班	☎ 82-5240
環境整備課	
地域整備班	☎ 82-5270
生活環境班	☎ 82-5280
会計室	☎ 82-5120
議会事務局	☎ 82-5300
農業委員会	☎ 82-5230
教育委員会	☎ 82-5320
学校給食センター	☎ 84-7180
只見保育所	☎ 82-2219
朝日保育所	☎ 84-2038
明和保育所	☎ 86-2249
朝日診療所	☎ 84-2221
(歯科)	☎ 84-2612
訪問看護ステーション	☎ 84-2130
こぶし苑	☎ 84-2101
保健福祉センター	☎ 84-7005
只見地区センター	☎ 82-2141
朝日地区センター	☎ 84-2111
明和地区センター	☎ 86-2111

## RECRUITMENT

### 募集

#### 町職員

(大学卒・短大卒程度)  
採用候補者試験

次により、平成25年度只見町職員(大学卒・短大卒程度)採用候補者試験を行います。

●試験職種・採用予定人員

▽一般事務職(大学卒)

1名程度

▽土木(大学卒)

1名程度

▽保健師(短大卒)

1名程度

●受験資格(学歴不問)

▽一般事務職、土木

①昭和58年4月2日～

▽保健師

平成3年4月1日生まれのもの

②昭和58年4月2日～

平成4年4月1日生まれのもの、  
保健師の資格を有する者又は、  
平成25年4月までに取得見込

#### みの者

#### ●試験の方法

大学卒・短大卒程度で次にやりを行います。

▽第一次試験

教養試験、専門試験、事務適性検査

▽第二次試験(一次試験合格者)

小論文、面接等による試験

●第一次試験の日時・場所

▽日時

平成24年7月22日(日)

午前9時(受付)～

午後3時40分

※職種により若干時間が異なります。

▽場所

福島大学(福島市金谷川1番地)

#### ●発表

役場掲示板に合格者受験番号を掲示するほか、本人に通知します。

#### ●採用

合格者は任用候補者名簿に登載され成績順に町長が採用者を

決定します。(この名簿の有効期間は一年間です。)

#### ●受験手続及び受付期間

▽申込用紙の請求

申込用紙は役場総務企画課及び朝日と明和の各地区センターで交付します。

郵送による交付を希望の場合

は、表に「大学卒程度試験申込用紙請求」、又は「短大卒程度試験申込用紙請求」と朱書し、

120円切手を貼った宛先明記の返信用封筒(角型2号)を同封してください。

▽申込方法

申込用紙は、持参又は郵送により役場総務企画課に提出してください。

申込書を送送する場合は、表に「大学卒程度試験申込」又は「短大卒程度試験申込」と朱書し、80円切手を貼った宛先明記の返信用封筒を同封してください。

後日「受験票」を送付します。

▽受付期間

平成24年5月28日～6月21日

#### ●その他

詳しくは、役場総務企画課総務班までお問い合わせください。

▽問い合わせ

総務企画課総務班

☎ 0241-82-5050

#### 国家公務員「税務職員

(高校卒業程度)

採用試験

次により申込みを受付けます。

#### ●受験資格

①試験年度の4月1日において高等学校又は中等教育学校を卒業した日から起算して3年を経過していない者及び試験年度の3月までに高等学校又は中等教育学校を卒業する見込みの者

②人事院が「①」に掲げる者と同等の資格があると認める者

▽試験申込書

受検申込は、人事院あてに原則インターネットで申込みをしてください。

※インターネット申込専用アドレス

<http://www.jinji-shiken.go.jp/juken.html>

▽郵送又は持参する場合は、最寄の税務署、仙台国税局人事第二課又は人事院東北事務局へ受験申込書を請求してください。

▽問い合わせ

仙台国税局人事第二課  
試験研修係  
☎ 022-263-1111  
内線3236

## 税 今月の納期

6月25日までに納めましょう

●町県民税(1期)

●水道使用料(1期)

●農集排使用料(6月分)

#### ●受験申込受付期間

▽インターネット申し込み

平成24年6月26日(火)～

7月5日(木)

▽郵送・持参申し込み

平成24年7月2日(月)～

7月10日(火)

#### ●受験申込書

受検申込は、人事院あてに原則インターネットで申込みをしてください。

※インターネット申込専用アドレス

<http://www.jinji-shiken.go.jp/juken.html>

▽郵送又は持参する場合は、最寄の税務署、仙台国税局人事第二課又は人事院東北事務局へ受験申込書を請求してください。

▽問い合わせ

仙台国税局人事第二課  
試験研修係  
☎ 022-263-1111  
内線3236

みなさん只見町を  
PRしてください!

## 広報員「ふるさと大使」を募集します

### ★対象は?

福島県只見町に理解と郷土愛を持つ県外在住の方が対象です。

### ★何をやるの?

みなさんができる範囲で、次の活動を行なっていただきます。

- 只見町に関する情報の発信（特製名刺の配布等）
- 只見町に役立つ情報の収集（町に対する評価等）
- 只見町に役立つ情報の提供（まちづくりの提言等）

### ★待遇は?

報酬はありませんが、活動に関して次のものを提供します。

- 只見町広報員「ふるさと大使」の名刺（1人年間100枚）
- 町の広報誌、資料等

また、只見町からのお願いにより旅行（出張）していただく場合は実費を支給します。

### ★任期は?

1年です。ただし希望により3年を限度として再任可能です。

### ★交流会の開催

年に1回只見町において広報員相互の交流及び情報交換の場を設けます。

旅費は支給しますが、町内出身者の方は除きます。

### ★募集人数は?

10人を上限としています。

応募者が多数の場合は選考となります。

#### 【応募方法・募集期間】

●応募用紙をFAXか郵送又は持参にて、只見町役場総務企画課企画班まで提出してください。

●募集期間は6月15日(金)～7月17日(火)です。(最終日必着)

●応募用紙は只見町公式ホームページからダウンロードできます。

#### 【応募・問い合わせ先】

只見町役場 総務企画課 企画班

[ホームページ <http://www.tadami.gr.jp>]

〒968-0498 南会津郡只見町只見

TEL0241-82-5220 fax0241-82-2117

## 町長室日誌

〈 5 月 分 〉

- 1日 役場任期付職員辞令交付式
- 2日 福島県中・県南・会津地区国道協議会総会
- 7日 テーエヌアイ産業(株)、内外マリアブル(株)表敬訪問、千葉県柏市表敬訪問
- 8日 関東森林管理局表敬訪問
- 9日 会津高原ふるさと推進協議会、南会津町村会総会、南会津地方土地開発公社理事会、南会津地方広域市町村圏組合管理者会、会津総合開発協議会南会津地方部会、南会津地方林業協会総会、南会津地方緑化推進委員会、南会津防犯協会連合会総会
- 10日 ユネスコエコパーク検討委員会
- 11日 森林林業緑化協会監事会、会津総合開発協議会役員会、あいづふるさと市町村圏協議会役員会、消防団ポンプ操法結団式
- 14日 (株)季の郷湯ら里取締役会
- 16日 全国治水砂防協会総会、ダム・発電関係市町村全国協議会総会
- 21日 只見川ライン観光協会総会
- 22日 新嘗祭献穀田御田植祭、会津総合開発協議会総会、あいづふるさと市町村圏協議会総会、会津縦貫南道路整備促進期成同盟会
- 23日 会津ただみ振興公社株主総会
- 24日 観光まちづくり協会理事会、(株)季の郷湯ら里株主総会
- 25日 南会津地方環境衛生組合臨時議会
- 26日 会津みなみ農業協同組合通常総代会
- 28日 社会福祉法人南会津会評議員会並びに理事会
- 29日 民生児童委員会協議会懇談会
- 30日 観光まちづくり協会総会
- 31日 南会津地方新消防体制実施計画策定委員会

今年こそやるよ!!

“でんきの産地”  
只見のキャンドルナイト

100万人の  
キャンドルナイト in 只見

2012年6月16日(土) 17:00  
会場：只見川公園 (福島県只見町)  
入場無料

関連イベント  
ドキュメンタリー映画  
ミツバチの羽音と地球の回転  
上映会  
6/20(火) 19:30  
上映時間 約1,000分

(問): 実行委員会 0241-82-5250 (一機) 総務課 只見町観光まちづくり委員会  
<http://www.candlelight-tadami.org/>  
主催: 「100万人のキャンドルナイト in 只見」実行委員会  
後援: 只見町

Photo: michiko.negoro(nangachopi) 2011年6月 只見川で撮影



# 町民の消息

(5月1日～5月31日届出分・敬称略)

## ■お誕生おめでとうございます

藁谷 茂しげる (男/友活・雅子) 亀岡  
 三瓶 結妃ゆうひ (女/和人・未来) 二軒在家  
 増田 琉気るき (男/良・美奈) 只見

## ■おくやみ申し上げます

小沼 コユキ 86歳 長浜  
 山内 結賀 0歳 梁取  
 五十嵐 アサイ 90歳 只見  
 横山 恒彦 90歳 長浜  
 三瓶 哲 52歳 大倉

※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

# 人のうごき

平成24年5月1日現在

人口 4, 809 (+22)  
 男 2, 313 (+20)  
 女 2, 496 (+2)  
 世帯数 1, 846 (+13)  
 高齢化率 41.3%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 41 転出 14 出生 2 死亡 7

▽6月に入りました。今年も半年が過ぎようとしています。皆さんは「もう半年」か「まだ半年」のどちらですか。私は前記の方です。とにかく時間の経過が早く感じます。充実した一日、悔いのない一日、と実感できた日もほんのわずかなような気がします。あと残り半年、充実した時間を少しでも多く過ごせるよう、頑張りたいと思います。▽平成21年の秋に町制施行50周年記念事業の一環でお配りした梅の苗木に今年花が咲いたと写真をいただきました。ありがとうございます。皆様からのホットな話題、お待ちしております。

## あとながき

- 1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう
- 1、互いに助け合い親切をつくり楽しい町をつくりましょう
- 1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう
- 1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう
- 1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう



地区センター長  
馬場 博美

只見地区センター  
図書室 ☎ 82-2141

# おすすめ新着図書

## ★スイングアウト・ブラザーズ



石田衣良／著 (光文社)

地元下町の信用金庫で働く薄毛の営業マン、小林紀夫。大学時代の同級生、長髪・やせ形のプログラマー矢野巧と、清涼飲料水の営業マン、太っちょの堀部俊一。冴えない3人組は、大学時代のあこがれの先輩・河島美紗子をはじめた男性向けエステティックサロンの第一期特待生になった。目的は、ずばりモテ男になること。

はたして3人の運命は？

## ★三匹のおっさん



有川浩／著 (文春文庫)

還暦ぐらいでジジイの箱に蹴り込まれてたまるか！定年を迎えて一念発起した剣道の達人・キヨ、経営する居酒屋も息子に任せられるようになってきた柔道の達人・シゲ、遅くできた一人娘を溺愛する町工場経営者で機械をいじらせたなら右に出るものなしの頭脳派・ノリ。かつての悪ガキ3人組が結成した自警団が、痴漢、詐欺、動物虐待など、ご町内にはびこる悪を成敗！その活躍はやがてキヨの息子夫婦や孫の祐希、ノリの愛娘・早苗らにも影響を与えてゆく…。

## ★舟を編む



三浦しをん／著 (光文社)

玄武書房に勤める馬締光也は営業部では変人として持て余されていたが、新しい辞書『大渡海』編纂メンバーとして辞書編集部を迎えられる。個性的な面々の中で、馬締は辞書の世界に没頭する。言葉という絆を得て、彼らの人生が優しく編み上げられていく。しかし、問題が山積み。辞書編集部。はたして『大渡海』は完成するのか。言葉への敬意、不完全な人間たちへの愛おしさを謳いあげる「三浦しをん」の最新長編小説。

★図書室に関するご要望や購入図書のご希望など、お気軽にお寄せください。

## トウホクサンショウウオ

(学名: *Hynobius lichenatus*)

[有尾目サンショウウオ科サンショウウオ属]

只見町では、4月下旬頃から産卵のために水場集まるトウホクサンショウウオの姿が観察でき、半透明のひも状の卵塊が多数見られるようになります。



トウホクサンショウウオは、東北地方、新潟から関東北部の標高数百メートルの低山帯に多く生息する日本固有種です。水場周辺の湿った林床の倒木や落ち葉などの下に潜っていますが、夜になるとエサを求めて林床を徘徊します。

なかなか出会う機会はありませんが、繁殖期には、産卵をしに集まったトウホクサンショウウオを観察することができます。約3週間ほどで、オタマジャクシのような幼生が孵化し、ほとんどの個体は冬になる前に変態上陸をします。

環境省の準絶滅危惧（現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種）に指定されています。

### 特別展示

#### ○只見を再発見！「自然首都・只見」展

只見町の自然・文化・生活を、パネルや実物展示で紹介します。

期 間：7月16日(祝・月)まで

### 第16回 ブナセンター 講座

#### ○森林の恵みとその背景～生態系サービスを考える～

講 師：中静透さん(東北大学大学院・生命科学研究科教授)

日 時：6月16日(土) 午後1時30分～

### 自然観察会

#### ○身近なブナ林を歩く

日 時：6月17日(日) 午前9時30分～

場 所：只見町榎戸地区など(ただみブナと川のミュージアム集合)

※この広報紙は再生紙を使用しています

皆様のご支援、ありがとうございます。

### 豪雨災害による支援

多くの皆様から、お見舞いなどのご支援をいただいております。  
誠にありがとうございます。いただきました支援金については、  
災害復旧対策などのため有効に使わせていただきます。

**支 援 金**      6,571,934円      (61件)  
6月4日現在